

科目 臨床検査総論実習 (Laboratory of General Clinical Ex.)

担当教員 横田 浩充

【1】 授業の目的と学習成果〔教育目標・具体的な項目〕

病院において臨床検査技師の職務について、実地で学ぶことを目的とする。その結果、採血の方法と検体の取り扱い方についての理解、尿検査、便検査、その他の体液検査の意義と検査結果について理解する。また、病院の組織、機構を含む全体の業務の理解を学びの目標としている。

<教育目標>

- (1) 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ
- (2) 自ら主体的に学ぶ力をもつ
- (3) 他者と協力して課題を解決する力をもつ

<具体的な項目>

専門分野における十分な基礎知識・基本技能 (1)
 関連する分野における概括的な基礎知識・基本技能 (1)
 根拠に基づいて科学的な推論を行い、結論を導く能力 (1)
 根拠を求めて、科学的な手法で実験・実証を計画・実行する能力 (1)
 常に問題を科学的に分析・解釈しようとし、そのための科学的探究を試みる態度 (1)
 問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力 (2)
 問題解決のために積極的に他者と協働する態度 (3)

【2】 授業計画

採血室の運用（患者への対応等）を学ぶ
 採血手技を習得する
 血糖負荷試験、出血時間の方法を学ぶ
 検体の取り扱い方等を習得する。
 尿検査および尿沈渣検査、便検査を学ぶ
 その他（髄液、精液、腹水、十二指腸、喀痰等）の体液検査の方法を学ぶ

【3】 到達目標

1. 採血の方法と検体の取り扱い方について説明することができる。
2. 尿検査を行うことができ、検査結果について説明することができる。
3. 便検査を行うことができ、検査結果について説明することができる。
4. その他の体液検査を行うことができ、検査結果について説明することができる。
5. 病院の組織、機構を含む全体の業務について説明することができる。

【4】 授業概要

病院臨床検査部の採血室および一般検査室にて、採血および一般検査を実習する。東邦大学医療センター大森病院、大橋病院、佐倉病院等の臨床検査部長、病理部長、臨床生理機能検査部長、輸血部長および技師長・主任が担当する。

【5】 準備学習（予習・復習）および必要時間

臨床検査総論 I で使用した資料を2時間以上予習しておく。また、実習で配布される資料および学んだ項目の復習を1時間行う。

【6】 教科書・参考書・参考資料

「臨床検査法提要」（金原出版）
 「最新臨床検査講座15、17、18、21、23巻」（医歯薬出版）
 標準臨床検査学 臨床検査総論（医学書院）

【7】 評価方法およびフィードバック

臨地実習先での評価シート（70%）および臨床検査課程で課する報告書（30%）により評価する。レポートはコメントを付し返却するので確認・復習すること。

【8】 オフィスアワー

臨地実習先にて、随時担当者が対応する。
 横田：月、火、木の15時以降

【9】 関連科目

〔予め学んでおくとよい科目〕

臨床検査総論 I 臨床検査総論 II

〔この科目に続く内容の科目〕

臨床特別講義

【10】その他

臨地実習先での実習のため、身なりを清潔に指導者に対して感謝の気持ちを持ち、言葉づかいも丁寧にすること。社会の一員としての自覚を持って実地に学んでいただきたい。
臨床検査技師課程の学生を対象とする実習である。